

牧野富太郎
生誕160年
特別企画展

The 160th Anniversary of his Birth
TOMITARO MAKINO
Untold stories of an extraordinary life

牧野富太郎展

博士の横顔

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden presents Special Exhibition

2022 4.24 sun ~ 6.26 sun

9:00~17:00 ※4月24日(日)はオープニングセレモニー開催のため10:15開場

牧野富太郎記念館 企画展示室・植物画ギャラリー

[主催] 高知県立牧野植物園 [企画運営] 公益財団法人高知県牧野記念財団・里見デザイン室
[協力] 越前町(横倉山自然の森博物館)・佐川町・練馬区立牧野記念庭園・南方熊楠顕彰館・東京都立大学牧野標本館

植物の名づけ親

植物図の名手
小学校
自主退学
植物分類学者

大日本植物志

植物学教室編纂

2022年4月24日 牧野富太郎生誕160年

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden presents Special Exhibition
The 160th Anniversary of his Birth : TOMITARO MAKINO
Untold stories of an extraordinary life

等身大の 富太郎が ここにいます。

植物分類学者、牧野富太郎ってどんな人だったのでしょうか？
自らを“草木の精”と称し、
94年の生涯を草木とともに歩んだ富太郎。
生誕160年を迎えたこの春、その素顔やエピソードなど
「知っているようで知らない」富太郎の姿を
「牧野文庫」に収められた貴重な資料などからひも解きます。

笑顔の学者
30回
ノンキな
トーサン
造り酒屋の
一人息子
越し物ずき
南国気質



「書斎の牧野博士」橋本正利画 1948(昭和23)年

家族も立ち入れなかった書斎で、富太郎の肖像画を描いた画家の言葉「絵になる”じじいだ”。書斎での富太郎のエピソードや蔵出し写真を大公開。富太郎を撮った人物や、新聞報道にみる富太郎など「絵になる”学者」の魅力満載です。



ユーモラスな表情の富太郎 1942(昭和17)年

絵になる じじいだ

牧野富太郎
(1862~1957)

高知県高岡郡佐川町生まれ。土佐の豊かな自然の中で植物を友として育ち、独学で植物知識を身につける。22歳で上京し東京大学理学部植物学教室に出入りを許され、植物分類学の研究に打ち込む。日本国内ではじめて新種「ヤマトクサ」を発表するなど、新種や新品種など1,500種類以上の植物を命名。生涯で収集した押し葉標本は約40万枚、蔵書は約4万5千冊を数える。植物図の名手としても知られ、「牧野日本植物図鑑」は今なお研究者や愛好家の必携の書とされる。植物を知ることの大切さを子どもから大人にまで広く伝え94年の生涯を閉じた。

牧野文庫

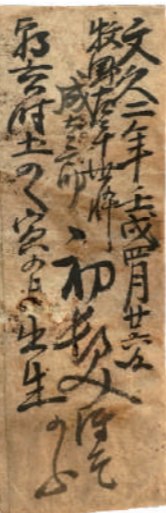
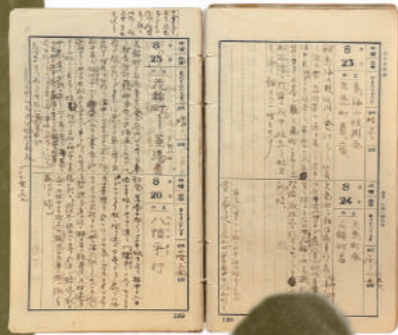
1960(昭和35)年、牧野富太郎の蔵書をご遺族から高知県に寄贈されたことを契機に、高知県立牧野植物園に整備され、1963(昭和38)年に落成。蔵書や手紙、自身が描いた植物図など、約6万点を収蔵している。



若き日の富太郎



富太郎の日記 1927(昭和2)年



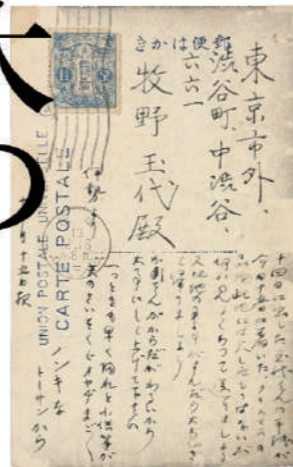
富太郎のへその緒が収められた包み



秋田県 蒸ノ湯温泉にて 1927(昭和2)年

紀州のてんぎゃん 土佐の 草木の精 天狗と

さまざまな共通点を持ち、機会がありながらも会うことのなかった南方熊楠と牧野富太郎。同時代を生きた二人の手紙のやりとりや、熊楠の資料などから、独自の研究姿勢を貫いた両者の、お互いへの強い意識の軌跡を多彩に読み解きます。 富太郎 1904(明治37)年



娘 玉代に宛てたハガキ 「ノンキなトーサンから」とある 1924(大正13)年



妻 壽衛と

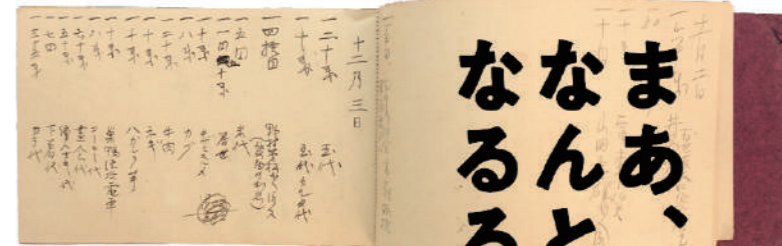


愛猫「チーコ」を膝に抱く 1937(昭和12)年

ノンキな トーサン

妻の壽衛、娘の鶴代や玉代など富太郎を支えた牧野家の人びと。旅先の富太郎が家族にあてた手紙や玉代あてのハガキからは、牧野家の日常と、一家の主人であり、一人の父親でもある愛情あふれる富太郎の姿が垣間見えます。

牧野家の家計簿 1919(大正8)年



まあ、 なんとか なるろうか

時に多額の借金を抱えながら植物研究に打ち込んでいた富太郎。牧野家の家計簿や、書籍代金、懐中時計など数々の領収書から、牧野家の経済事情を覗いてみましょう。

富太郎が設計した 牧野式崩乱 (複製)



博物学者 南方熊楠 1891(明治24)年 写真提供: 南方熊楠顕彰館



富太郎愛飲の コーヒー豆(モカ)と紙袋

セレモニー&サイドイベント | 参加無料 |

オープニングセレモニー

無料開園 4/24(日)10:00~20分程度
展示館 ウッドデッキ

富太郎160回目の誕生日をお祝いしよう!

- 園長挨拶 ●企画展の見どころ紹介
- マキノブレンドティー&オリジナルスイーツの振る舞い(先着160名)



講演会「愛すべき天才の情熱」※別途入園料必要

【講師】朝井 まかて(小説家)
6/4(土)13:30~15:00 開場13:00
本館 映像ホール

【定員】50名
【申込】5/9(月)9:00~ホームページにて申込開始(先着順)

植物学者・牧野富太郎の生涯を描いた長編小説「ボタニカ」の著者であり、大の植物好きでもある、朝井まかてさん。自分の信じるものに生涯を尽くし、それゆえ騒動も絶えなかった天才「富さん」の魅力や、執筆の舞台裏もまじえながら、朝井さんならではの視点でぞんぶんにお話しいたします。

朝井まかて 1959年、大阪府生まれ。2008年「実さえ花さえ」(のち「花競べ」に改題)で小説現代長編新人賞奨励賞を受賞してデビュー。14年「恋歌」で直木賞、21年「類」で柴田錬三郎賞のほか、数々の賞を受賞。近著に「ボタニカ」。

ギャラリートーク ※別途入園料必要

5/22(日)・6/19(日)
各日11:00~14:00~(20分程度)
等身大の富太郎をもっと知って楽しめる植物園の職員によるギャラリートーク。

【定員】10名
【申込】不要(直接会場にお越しください)



Makino Day
4/24
sun
9:00~17:00

牧野富太郎生誕記念「マキノの日」よん・に・よんはマキノの日!

富太郎ゆかりの植物解説 植物園オリジナル映像作品上映

10:00~12:00、13:00~15:00
こんこん山広場、展示館 中庭

レストランアルブル
カフェアルブル
「マキノの日」限定メニューが登場

9:30~16:00 ※30分間隔でリピート上映

「展示館シアター」で上映中のオリジナル映像作品から、富太郎に関連の深い2作品を特別スケジュールで上映。

- ①「牧野富太郎が描く植物の巧みなくみ」展示館シアター
 - ②「高知自然紀行」本館 映像ホール
- ※入退室自由 ※上映時間:各13分程度

2022
4.24 sun
9.30 fri

第3回
植物図コンクール
作品募集

小学5・6年生を対象とした恒例の植物図コンクール。募集期間中には、牧野富太郎ゆかりの植物をめぐるガイドウォークや植物図の描き方教室なども開催します。翌春のコンクール作品展(2023/3/4(土)～5/14(日))にて入選作を大公開。子どもたちによる力作の数々をご覧くださいだけです。

Special
Exhibition



2022
10.8 sat
2023
1.22 sun

特別企画展
牧野博士と図鑑展

牧野富太郎の集大成『牧野日本植物図鑑』。刊行から80年以上が経った今なお読み継がれているロングセラーです。「牧野図鑑」をさまざまな角度からご紹介します。

The 160th Dr. Tomitaro Makino birth anniversary
令和4(2022)年
4.24

牧野富太郎
生誕160年

Information

牧野富太郎が
連続テレビ小説の
モデルに!

2023年度前期
連続テレビ小説(NHK)
「らんまん」の制作が
決定しました。

生誕160年
特設HP

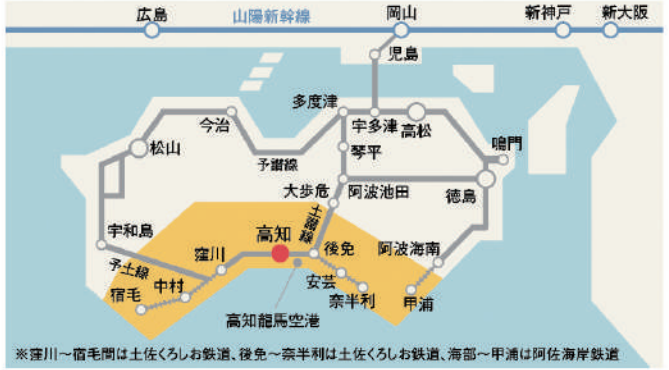


拝啓
牧野富太郎さんへの手紙

巡回展
牧野富太郎
生誕160年記念事業
実行委員会主催

2021年に募集した手紙コンクール「拝啓 牧野富太郎さんへ」で選出された「牧野富太郎賞」など12作品を巡回形式で紹介いたします。

- 1 佐川町 牧野富太郎ふるさと館
2022/4/24(日)～6/15(水)
- 2 高知県立牧野植物園
2022/7/16(土)～9/4(日)
- 3 越知町立横倉山自然の森博物館
2022/10/1(土)～11/27(日)
- 4 練馬区立牧野記念庭園記念館
2023/2/11(土・祝)～3/31(金)



- JR**
- 岡山～高知「特急南風」(約1時間に1便)で約2時間30分 ●新大阪から約3時間30分
 - 高松から約2時間30分 ●松山から約4時間 ●徳島から約3時間
- 飛行機**
- 羽田～高知約1時間10分 ●大阪(伊丹)から約45分 ●名古屋(小牧)から約1時間
 - 成田から約1時間40分
- お車 レンタカー**
- 高知自動車道「高知IC」から一般道で約20分 ●はりまや橋から約20分
 - 高知龍馬空港から東部自動車道経由で約25分(タクシーで約4,000円)
 - 工事による駐車台数大幅減のため植物園駐車場の混雑が予想されます。お車で越しの際は、臨時無料駐車場+シャトルバスをご利用ください。(12月末までの土日祝など運行)
- 観光**
- JR高知駅から約30分
- 周遊バス**
- 運行について/とさでん交通(株) TEL088-833-7171
- MY遊バス**
- 乗車券について/ (公財)高知県観光コンベンション協会 TEL088-823-1434



新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください

- マスクを着用ください
- 手洗い 手指の消毒を
- 人との距離を1m以上空けて

■発熱、咳、のどの痛み、だるさなど体調不良の方は、入園をお控えください。 ■イベントの内容を変更または中止させていただく場合があります。ご来園の際は最新情報をHPでご確認ください。

【開園時間】9:00～17:00 【休園日】年末年始、メンテナンス休園日 6/27、9/26、11/28、2023/1/30 【入園料】一般730円(高校生以下無料)、団体630円(20名以上)、年間入園券2,930円(1年間有効のフリーパス) ※身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

新研究棟(南園)および駐車場の工事のため
騒音などでお客様にご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。